

山運輸第155号の2
令和4年9月5日

一般乗用旅客自動車運送事業者 殿

山形運輸支局長
(公印省略)

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果及び適正と考えられる車両数について

標記について、東北運輸局長より別添のとおり通知がありましたので、了知願います。

公 示

公示第39号

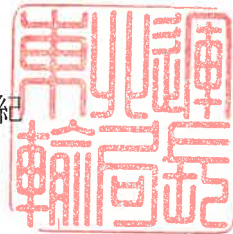
準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果及び適正と考えられる車両数について

平成26年1月27日付け公示第96号「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果及び「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」(平成21年法律第64号)における準特定地域の適正と考えられる車両数(以下「適正車両数」という。)を下記のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値及び適正車両数の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和4年8月30日

東北運輸局長 田中 由紀



記

令和4年度の準特定地域における需給状況の判断結果及び適正車両数

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和3年度末 車両数 (両)	増加可能車両数	適正車両数 (両)		令和3年度末車両数と 適正車両数(上限)との 乖離率 (%)
					上 限	下 限	
青森県	青森交通圏	305	818	▲ 513	421	305	48.5
	八戸交通圏	238	490	▲ 252	301	238	38.6
	弘前交通圏	199	395	▲ 196	217	199	45.1
岩手県	盛岡交通圏	369	858	▲ 489	488	369	43.1
	一関交通圏	70	154	▲ 84	95	70	38.3
宮城県	仙台市	1165	2246	▲ 1081	1558	1165	30.6
秋田県	秋田交通圏	213	487	▲ 274	299	213	38.6
福島県	福島交通圏	115	426	▲ 311	149	115	65.0
	郡山交通圏	253	580	▲ 327	331	253	42.9
	会津交通圏	99	263	▲ 164	145	99	44.9
	いわき市	173	412	▲ 239	227	173	44.9
山形県	山形交通圏	173	476	▲ 303	259	173	45.6

※上記「令和3年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー特措法」という。）第2条第9項に定める事業用自動車（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーに限る。以下「個人タクシー」という。）を除く。）の数である。

附 則

本公示は、令和4年度の準特定地域における法人タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーを除く。））の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

1. 算定方法

$$\text{輸送需要量} \div (\text{平均総走行キロ} \times \text{平成13年度実車率} \div \text{平均延実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 適正車両数の算定基礎数値

都道府県	営業区域 (交通圏)	輸送需要量の算定		適正車両数の算定				
		令和3年度末 総実車キロ	平均対前 年度比率*1	平均総走行キロ *2	平成13年度 実車率	平均延実働 車両数*3	実働率	
						上限値*4	下限値*4	
青森県	青森交通圏	5,820,393	0.87	28,039,479	0.33	188,608	0.67	0.92
	八戸交通圏	4,709,907	0.90	17,925,260	0.39	121,346	0.67	0.84
	弘前交通圏	3,096,823	0.86	13,834,103	0.34	105,044	0.74	0.81
岩手県	盛岡交通圏	7,445,833	0.89	26,774,425	0.41	196,094	0.66	0.87
	一関交通圏	1,113,638	0.91	3,496,997	0.46	33,187	0.60	0.81
宮城県	仙台市	25,968,766	0.90	92,510,873	0.38	578,064	0.69	0.92
秋田県	秋田交通圏	3,929,297	0.89	15,629,296	0.38	116,922	0.63	0.88
福島県	福島交通圏	2,501,581	0.81	12,936,801	0.44	103,470	0.67	0.87
	郡山交通圏	4,889,665	0.89	17,316,875	0.42	136,780	0.69	0.90
	会津交通圏	1,722,559	0.88	5,923,462	0.44	54,271	0.59	0.86
	いわき市	3,538,604	0.88	11,371,791	0.45	81,810	0.61	0.79
山形県	山形交通圏	3,179,911	0.86	12,389,919	0.43	107,279	0.58	0.87

※「平均対前年度比率」、「平成13年度実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しない。

*1……「平均対前年度対比率」は、平成29年度から令和3年度における総実車キロの対前年度比率の平均値

*2……「平均総走行キロ」は、平成29年度から令和3年度における総走行キロの平均値

*3……「平均延実働車両数」は、平成29年度から令和3年度における延実働車両数の平均値

*4……実働率の「上限値」は平成13年度値又は平成29年度から令和3年度における平均値のいずれか低い数値

実働率の「下限値」は平成13年度値又は平成29年度から令和3年度における平均値のいずれか高い数値

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

青森県

青森交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
5,054,894	5,820,393	0.87

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
305	5,054,894	28,039,479	0.33	188,608	0.92

八戸交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,242,292	4,709,907	0.90

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
238	4,242,292	17,925,260	0.39	121,346	0.84

弘前交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,672,686	3,096,823	0.86

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
199	2,672,686	13,834,103	0.34	105,044	0.81

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

岩手県

盛岡交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
6,622,328	7,445,833	0.89

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
369	6,622,328	26,774,425	0.41	196,094	0.87

一関交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
1,012,707	1,113,638	0.91

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 365 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
70	1,012,707	3,496,997	0.46	33,187	0.81

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

宮城県

仙台市

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
23,416,958	25,968,766	0.90

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,165	23,416,958	92,510,873	0.38	578,064	0.92

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

秋田県

秋田交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,479,351	3,929,297	0.89

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
213	3,479,351	15,629,296	0.38	116,922	0.88

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

福島県

福島交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,038,439	2,501,581	0.81

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
115	2,038,439	12,936,801	0.44	103,470	0.87

郡山交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,371,273	4,889,665	0.89

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
253	4,371,273	17,316,875	0.42	136,780	0.90

会津交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
1,507,569	1,722,559	0.88

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
99	1,507,569	5,923,462	0.44	54,271	0.86

いわき市

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,108,923	3,538,604	0.88

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
173	3,108,923	11,371,791	0.45	81,810	0.79

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

1. 算定方法

$$\text{必要車両数} = \text{輸送需要量} \div (\text{総走行キロ} \times \text{実車率} \div \text{延べ実働車両数}) \div 365 \div \text{実働率}$$

2. 必要車両数の算定基礎数値

山形県

山形交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和3年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,744,019	3,179,911	0.86

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
173	2,744,019	12,389,919	0.43	107,279	0.87

①総走行キロ(D)及び延べ実働車両数(F)のデータは、前5年間平均のデータである。

②実車率(E)は平成13年度の実績値、実働率(G)は平成13年度の実績値又は直近5年間の実績値の平均値のいずれか高い値

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」及び「実働率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。